

# 小説における仮定条件複文の構文形式の日中対照研究

新 田 小雨子

## 抄 録

---

本稿では「日中対照コーパス」の原文が中国語である文学作品から仮定条件を表す代表的な“如果”構文をピックアップし、日本語との構文形式の比較を行うことによって、両言語の共通点と相違点を見極めた。本稿ではデータ上に見られた“如果”構文の傾向に従って、三種類に分け分析を行った。一つ目は典型的な構文形式で、二つ目は二つ以上の条件節と一つまたは二つの結果節の組み合わせによる構文形式である。三つ目は、“如果”と主節の文末モダリティとの関わりの構文形式である。実例を通して検証した結果、単純構文では中国語と日本語の表現形式には共通点が多く両言語の対応性が非常に高いが、複雑な構文では中国語と日本語に相違点が見られた。“如果”が主節の文末モダリティに関係する構文では、日本語の「(もし) P たら、Q」構文との対応性が高いことが判明した。

---

キーワード：仮定条件複文，“如果”構文，構文形式，条件節，結果節

## 序章 はじめに

仮定条件複文に関する研究は日本語でも、中国語でも数多く出されており、対照研究の観点から書かれたものも見受けられるが、行き届かない部分はまだ少なくない。多くの論文では、日中対訳コーパスを用いて、文学作品で両言語はどのように対応しているか、その対応傾向を究明している。しかし、その傾向の形成原因に関して追究しないものが多い。また、孤立語である中国語では、複文における接続機能を持つ「関連詞語（接続表現）」<sup>(1)</sup>の使用は、形態に拘泥されず、従属節と主節の論理関係を表す際、必ずしも接続表現に頼るとは限らない特徴がある。一つの複文で、接続表現の組み合わせは何種類のパターンも持つため、中国で行われた複文に関する研究は、接続表現の組み合わせに重点を置くものが多い。一方、膠着語である日本語では、接続表現の使用は形態に拘

り、複文においては、接続表現の使用が必須であるだけでなく、構文要素の制約を受ける場合も少なくない。日本語では「と、ば、なら、たら」の4つの代表的条件表現があり、その使い分けは非常に難しい。従って、多くの参考書や研究論文では、それらの使い分けを中心として論じられている。筆者は日本語教育にも中国語教育にも携わっており、接続表現の使用に関しては、中国語母語話者の日本語学習者にとっても、日本語母語話者の中国語学習者にとっても習得上の難点の一つであることが否めないと感じている。筆者は長年にわたり日本語と中国語の因果関係を表す複文について比較対照を行ってきており、因果関係を表す両言語の類似点と相違点を多く究明してきた。言語教育においても目標言語を柔軟に運用する能力をアップさせるため、複文の習得指導が非常に重要であり、対照研究の観点から両言語の複文の諸相を少しずつ明らかにしていく必要があると思う。このため近年研究範囲をさらに広げ、条件複文についても研究を試みている。本稿では「假定条件複文」における接続表現の使用を観察し、構文上の類似点と相違点に重点を置き、分析を進めることとする。

## 第2章 日中両言語における条件複文の分類と対応性

日本語の条件複文は順接型条件複文と逆接型条件複文の2種類に分けられており、中国語でこの2種類に対応性を持つのは「主従複文」である。大河内（1967）では、「主従複文」を「已然表現」と「未然表現」との関係によって【表1】のように分類している。

【表1】「主従複文」と「已然表現」,「未然表現」との関係

I II	已然表現	未然表現
順接関係	因果句	条件句
逆接関係	転折句	譲歩句

劉（1991）では、「主従複文」を「因果複文」<sup>(2)</sup>「転折複文」<sup>(3)</sup>「条件複文」<sup>(4)</sup>「假定複文」<sup>(5)</sup>「譲歩複文」<sup>(6)</sup>の5種類に分け、それぞれ定義し、用例を挙げながら説明を行っている。劉（1991）は「条件複文」と「假定複文」を分けて論じている。中国語で書かれた文献では、複文に関する分類は様々だが、それぞれ共通点があり、大同小異という印象を受ける。しかし、劉（1991）の分類は今日まで主流となり、複文の研究における力作の存在となっている。劉（1991：738）では、「条件複文」と「假定複文」の相違について以下のように述べられている。

假定複文と条件複文には共通点がある。それは假定複文の偏句も条件の意味を含み、条件複文の偏句もまた仮定の意味を含むからである。異なるのは前者は仮定を強調し、後者は条件

を強調する点である。

大河内（1667）では、「已然表現」と「未然表現」との関係によって、「主従複文」は4種類に分けられているが、劉（1991）では偏句で「假定」を強調するかそれとも「条件」を強調するかという観点から、「条件複文」と「假定複文」を分けて記述されている。つまり、大河内（1667）で言及した“条件句”には「条件複文」と「假定複文」の2種類複文が含まれている。

鄭（1992）では大河内の分類に基づいて、【表2】のように分類した上で、日本語の順接関係の条件形式と中国語との対応関係について【表3】のように示している。

【表2】

	未然表現	已然表現
順接 関係	順接の假定条件文（日）	順接の確定条件文（日）
	条件句（中）	因果句（中）
逆接 関係	逆接の假定条件文（日）	逆接の確定条件文（日）
	譲歩句（中）	転折句（中）

【表3】

	未然表現（假定）	已然表現（確定）
日本語	と、ば、たら、なら	カラ、ノデ
中国語	如果…就, 要是…就	因为…所以

【表3】によれば、日本語の假定条件表現の「と、ば、たら、なら」は中国語の假定条件表現の“如果P, 就Q”, “要是P, 就Q”という表現形式と対応性を持つことがわかる。

今西（2004）では、中国語の複文の定義と種類について論じられ、「假定複文」について以下のように記述されている。用例番号は本稿の通し番号で記す。

- (1) **如果我去, 他就会去。**（もし私が行きさえすれば、彼は行くだろう）。
- (2) **即使我去, 他也不会去。**（たとえ私が行っても、彼は行かないだろう）。
- (1) の〈我去〉が假定を、〈他会去〉がその結果を表しているので、〈假定関係（順接的假定複文）〉と呼ばれている。しかし(2)の〈我去〉が假定を、〈他不会去〉がその結果を表しているが、假定と逆接的な結果になっているので〈譲歩関係（譲歩的假定複文）〉と呼ばれている。

今西によれば、中国語の「順接假定複文」は日本語の「ば」「たら」などのような順接假定関係

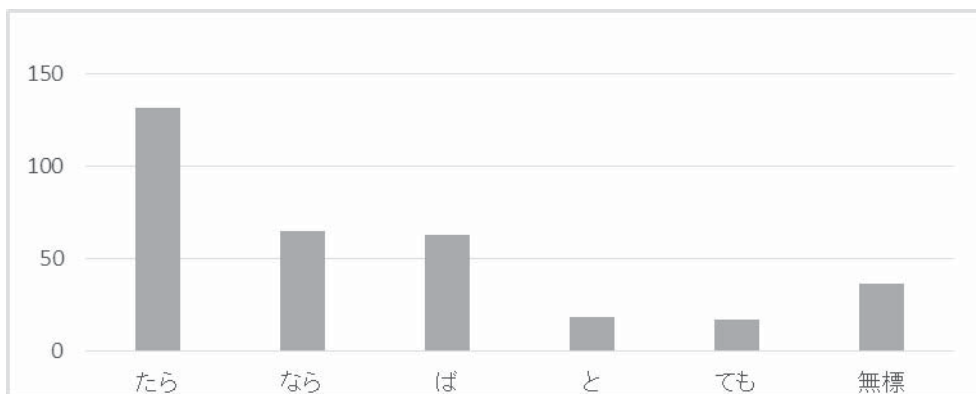
を表す表現と対応性があり、「讓歩假定複文」は日本語の「ても」と対応性があることが判断できる。本稿では、データ収集にあたって、中国語の「順接假定複文」であるもののみ対象とする。

### 第3章 研究対象および研究方法

本稿では、日中両国語の「假定条件複文」における構文形式の異同を究明することを目的としており、前述したように、中国語の複文における接続表現の使用は形態に拘泥されず、構文形式はバラエティに富んでいることが想定される。従って、本稿では日中対訳コーパスを用い、原文が中国語である小説から、中国語の最も代表的な假定条件表現の“如果（もしも…ならば）”を含む文例をピックアップし、日本語の訳文においてどのように表現されているかについて傾向を観察し、両者の対応性を明らかにする。さらにそうなる理由についても検討を行いたい。

### 第4章 “如果” を含むものとその日本語対訳実態

“如果”構文は、多様なコロケーションがあるが、代表的な構文形式は“如果P, 就Q”である。本稿では日中対訳コーパスより“如果”を含む文、計331例を収集し、日本語の訳文における対応表現を分類し、その対応実態を【図1】によって示す。



【図1】“如果”を含む文と日本語訳文の対応実態

言語データの文体は小説であるため、日本語訳文では、「たら」を用いて中国語の“如果”構文と対応するものは132例もあり最も多い。「なら」と「ば」はほぼ肩を並べており、それぞれ65例と63例があった。「と」と「ても（でも）」は18例と17例であり、「無標（対応表現なしのもの）」は36例であった。

## 第5章 両言語の構文形式の対応性

中国語の「主従複文」においては、従属節と主節にそれぞれ接続表現を置く傾向が目立っており、「仮定条件複文」にも条件を表す“如果”と呼応して用いる表現形式が多く見られる。分析にあたって、条件節が一つであるもの「P, Q」型、条件節が複数であるもの「P1, P2, …, Q1, …」型、文末のモダリティと関係しているもの「如果 P, Q (吗・呢・啊)」型の3種類に分け検討を行う。最後に中国語原文の表現形式と不对応のものについてもふれたい。

### 第1節 「P, Q」型

「P, Q」型は条件節ひとつの構文であり、典型的な構文なので、日本語と中国語のいずれにもより多く見られる構文形式である。中国語では接続表現の使用は、「如果 P, Q」型、「如果 P, 就 Q」型、「如果 P, 便 Q」型、「如果 P, 那么 Q」型などの表現形式が多く使用されるが、「如果 P, 就 Q」型は代表的なものである。以下文中の用例において、□で囲んだ部分は中国語の接続表現であり、訳文で\_\_\_\_によって示された部分は、中国語の接続表現に対応する表現である。

- (3) 如果我像大哥那样服从, 恐怕会永远关在家里, … 《家》  
 もしも大哥みたいに服従していたら, 永遠に家に閉じ籠められるところだった。 『家』
- (4) ……如果她愿意在高家玩, 多玩几天也不要紧, … 《家》  
 もしも高家にいたければ二三日お邪魔していても構わない, … 『家』
- (5) 如果那一连兵真的在这儿驻扎, 公馆里头一定会弄得非常之糟。 《家》  
 もしも大勢の兵隊がほんとうにやってくるたら, それこそこの邸はめちゃくちゃだよ。 『家』
- (6) 如果真有所谓‘薄命女儿’的话, 我便是一个。 《家》  
 もしいわゆる『女子薄命』という言葉がほんとうにあるなら, わたくしがそれね。 『家』
- (7) 如果你说这个菜炒得太老了, 下个菜必定是半生不熟。 《活动变人形》  
 少々煮すぎだというと, 次は半生とくる。 『応報』
- (8) 如果发生什么事件, 半秒钟之内警察们就会象猛虎一样地扑上来。 《活动变人形》  
 いざ事件となると猛虎のように跳び掛かっていくのだろう。 『応報』
- (9) 如果这儿也得不到任何回答, 那么今晚算白过了。 《青春之歌》  
もし, そこで, なんの回答もえられなかったなら, 今夜の努力はむだになるのだ。  
 『青春の歌』

(3) ~ (9) の例文はいずれも「P, Q」構文形式になっており、中国語原文では「“如果 P, Q」のケースもあれば、「如果 P, 就（便・也・那么）Q」のように条件節と結果節のいずれも接続表現が使用されているケースもある。中国語の接続表現には前後節の論理関係を表す接続詞と単なる接続機能を持つ副詞がある。“如果”は論理関係を明示的に示す接続詞であり、条件節の前に置かれる文の独立成分である。副詞の“就・便・也”は独立成分ではなく、修飾機能も持つものであるため、結果節に主語が現れたら、主語の前に置くことができない。副詞の“也（も）”は、従属節の接続詞と呼応して使用される場合も多くある。色々な機能を持っているが、例(4)では前後節の論理関係を強める機能を果たしている。“就”と“便”には多様な機能があり、後ろに来る構文要素によって働きが変わってくる。例(6)は「如果 P, 便 Q」という構文になっているが、結果節の“便”は“就”と置き換えることができる。“我便是一个”と“我就是是一个”のいずれも成立する。“便”の後ろに判断・説明を表す動詞の“是（…だ、…である）”が現れることによって、“便”は接続機能から修飾機能に変わって、動詞“是”を強調する役割を担っている。しかし、例(8)では、条件節の状態変化によって、結果節である行動が行われるという時間的な要素が含まれているので、時間的な継起関係を表す機能を持つ“就”はこの文に置いて接続機能を果たしていると言える。例(9)は「如果 P, 那么 Q」という構文になっており、結果節の節頭に置かれている“那么（…ならば、それでは）”も接続詞であり、条件節の“如果”と呼応して用いられる場合も少なくない。

例(3)(5)(7)は「如果 P, Q」になっており、結果節には接続表現が置かれていない。この三つの文を観察すると、ある共通点を持つのがわかる。結果節ではそれぞれ“恐怕（おそらく）”、“一定（きっと）”、“必定（かならず）”といった推測要素が含まれており、条件節の“如果”と呼応して使用される“就・便”などを用いにくい言語環境になっている。

日本語訳文では、「もし（もしも）P（たら・ば・なら）、Q」「Pと、Q」といった構文形式が用いられ、中国語と対応している。「たら・ば・なら」に翻訳されたものは、主節の内容を見れば、主観的ニュアンスが含まれていることがうかがえる。一方「と」に翻訳された(7)(8)は、従属節では仮定段階のある原因によって、主節である変化または行動が引き起こされるという表現内容になっている。

## 第2節 「P1, P2, …, Q1, …」型

中国語では条件節が二つ以上であるものがよく見受けられる。「P1, P2, Q」型もあれば、「P1, P2, P3, Q」型の存在もありうる。さらに条件節だけではなく、結果節も複数になっている構文の存在も考えられる。条件節の接続表現は「如果 P1, P2」のように条件節の先頭にのみ“如果”を置くケースと、「如果 P1, 如果 P2…」のように各条件節に“如果”を置くケースのいずれも観察



される。一方、日本語の場合、構文順序は中国語と大きな違いがあり、接続表現の位置だけではなく、接続表現の使用も異なると予想される。条件節が複数である場合、「たら、たら」「ば、ば」「なら、なら」のような同じ表現の連続使用は好ましくないと思われる。

- (10) **如果**不是看到他脸上的特别是眼角和嘴角的细密的皱纹，**如果**不是看到他陷入沉思的时候目光中那种深含的悲悯，大概会认为他年轻有为，善于调摄，驻颜有术，风华正茂。

《活动变人形》

顔の小ジワ，とりわけ目尻と口許の小ジワに気づかず，沈思黙考する目の奥に秘めた憂愁に気づかなければ，誰の目にも若く有為な，ヘルス・ケアも万全な，働き盛りと映る。

〔応報〕

- (11) **如果**再过十年，**如果**倪藻长大成人，她会更加真心和前后一贯地，坚持到底地祝愿——诅咒倪吾诚早日一命呜呼。

《活动变人形》

十年もして倪藻が大人になったら，その時こそ容赦なく願かけをしよう——夫を一日も早くあの世へと呪ってやろう。

〔応報〕

- (12) 人**如果**不生病，**不**发烧，**不**吵架也**不**死有多好。 《活动变人形》

人間が病気になったり，熱だしたりしなければいい。喧嘩や死ぬこともなければいい。

〔応報〕

- (13) **如果没有**连续读这本书，**也**没有机会给别人讲这本书，她一定自以为已经忘了这本书。

《活动变人形》

それをつづけて何度も読んだり，人に話して聞かせたりしなかったら，ケロッと忘れて二度と思い出すことはない，…。

〔応報〕

- (14) **如果**他还活在世上，**如果**他不叫万恶的国民党刽子手夺去了宝贵的生命，**那么**，我将是世界上第一个幸福的人…… 《青春之歌》

……もしもかれが，いままこの世に生きていて，あの極悪非道な国民党殺人鬼に，生命を奪われていなかったなら，わたしはこの世で，いちばん幸福な人間だったろう……

〔青春の歌〕

- (15) 我现在提一个问题，**如果**你们回答得上来，回答得对，**又**能服人，你们的行动**我就**支持，**我就**赞成。 《金光大道》

わたしはここに一つ問題を出すが，みんながそれに答えられ，それが正しく，なるほどなと思ったら，わたしもみんなのやる事を支持し，賛成しようじゃねえか。 『輝ける道』

- (16) 静，请告诉我实话——**如果**不爱我，**如果**我不值得你爱，**那么**……告诉我实话吧！

《青春之歌》

静，ほんとうのことをいってくれ，ぼくを愛していないなら——もし，ぼくがきみの愛

にあたいしない人間だったら、それなら……ぼくにほんとうのことを聞かせてくれ。

『青春の歌』

(10)～(16)の条件節はいずれも複数になっている。(10)(11)の原文はそれぞれ「如果P1, 如果P2, Q」構文になっており、訳文は「P1ず, P2ば, Q」, 「P1て, P2たら, Q」構文形式で対応している。(12)の原文は“不生病”, “不发烧”, “不吵架”, “也不死”の4つの条件節があり、仮定条件を表す表現が先頭のみ置かれ、「如果不P1, 不P2, 不P3, 也不P4, Q」構文になっている。訳文では、二つの文に分け、「P1たり, P2ば, Q。」「P1やP2ば, Q。」構文に訳されている。(13)の原文は「如果没有P1, 也没有P2, Q」構文が用いられており、日本語は「P1だり, P2たら, Q」構文で対応している。(14)の原文は「如果P1, 如果P2, 那么Q」構文であり、日本語訳文は「もしもP1て, P2なら, Q」構文が用いられている。(15)の中国語の「如果P1, P2, 又P3, 就Q1, 就Q2」構文に対して、訳文では「P1れ, P2く, P3たら, Q1し, Q2」構文が使用されている。(16)の原文は「如果P1, 如果P2, 那么Q」構文になっており、訳文は「P1なら, もしP2たら, それならQ」構文で対応している。

(10)～(16)を見れば、条件節が複数である場合、両言語の構文形式には大きな違いがあるということがわかる。中国語では先頭のみ接続表現を置く場合、例(12)のように、各節に同じ否定表現を使用することによって、節と節の並列関係を保つ。また(11)(14)のように、各節に同じ接続表現を使用するケースも観察される。さらに(10)のように、同じ接続表現を使用した上で、各節に同じ否定表現を用いる表現形式も見られる。前掲した「P, Q」型のような単純構文の場合は、両言語の対応性が非常に高いが、条件節或いは結果節が複数である場合、構文形式や接続表現の使用に相違が見られる。

中国語は各節の前に同じ接続表現が置かれたり、同じ否定表現を使ったりすることによって、文をさらなる展開していく。中国語の接続表現は常に条件節または結果節に前置され、条件節間或いは結果節間の並列関係を維持するため、同一表現の連続使用が必要とされる場合が多々ある。それに対して、日本語の接続表現は常に条件節の後ろに置かれ、並列助詞の「たり」「や」、接続助詞の「て」などを使用したり、形容詞の連用形を用いたりすることによって、節と節の並列関係を保っている。こういった表現方法で構造がより複雑な構文において同一仮定条件表現の使用または違う条件表現の併用を回避しながら、文を展開していく。

### 第3節 「如果P, Q (吗・呢・啊)」型

「如果P, Q (吗・呢・啊)」型は文末のモダリティ表現と関わりのある構文形式である。“吗”は疑問を表す語気助詞であり、“呢”は疑問詞疑問文の文末に用い、答えを催促する気分を示す。“啊”



は文末に用いて感嘆の意を表す。仮定条件表現の“如果”は主節の接続表現と呼応して用いられる場合が多いが、文末に疑問、感嘆などのモダリティ表現が現れると、主節に接続機能を持つ表現の使用が制限される傾向が見受けられる。中国語の原文において  で示された部分は中国語の語気助詞である。

- (17) 如果你母亲给你决定了一个和梅姐同样的命运，你也顺从吗？ 《家》  
 もしもあなたのお母さんが、梅姉さんと同じ運命を選んでくれたとしたら、あなたその意志に従う？ 『家』
- (18) 如果把那些书都拿给她，她将会多么高兴啊！ 《轮椅上的梦》  
 ここにある本をみな持っていったら、彼女はどんなに喜ぶだろう！ 『車椅子の上の夢』
- (19) 如果救不出黎江，那些人会把他怎么样呢？ 《轮椅上的梦》  
 救い出せなければ、その人たちは黎江をどんな目に合わすだろう？ 『車椅子の上の夢』
- (20) 爸爸，如果你知道我把你从照片上剪掉，该会多么伤心啊！ 《轮椅上的梦》  
 パパ、あたしがパパの姿を切り落としたって知ったら、きっととても悲しむよね！  
 『車椅子の上の夢』
- (21) 如果这个姨父还活着，那他们又该怎样生活呢？ 《活动变人形》  
 もし伯父ちゃんが生きてたら、僕たちの暮らしはどんなだったろう。 『応報』
- (22) 如果真是拍花子的，他又到哪里躲去呢？ 《活动变人形》  
 まさか人さらいだったら僕どこにかくれよう。 『応報』
- (23) 如果她处于费贞娥的地位，她有勇气去刺虎和自刎吗？ 《活动变人形》  
 もし自分が彼女の立場におかれたら、相手を刺して自刃する勇気があるだろうか 『応報』

上掲の用例はいずれも主節にモダリティ表現が用いられる構文であり、従属節においてある仮定条件を示し、それによってどんな結果が現れるかを推測している。このような環境の中では、疑問や感嘆などの語気を損なわないように、主節に接続表現の使用は好ましくないように思われる。

訳文において、中国語の「如果 P, Q 呢」「如果 P, Q 吗」「如果 P, Q 啊」に対応しているのは「(もし) P たら、Q」構文形式がもっとも多く観察される。日本語の仮定条件表現の「たら」の使用は文末のモダリティの制約を受けにくい特徴がある。庵他 (2000) では、「[～たら]は後件に意志・希望・命令・依頼などが来る文でも用いることができます。(中略) 使える範囲が最も広いのは「～たら」です。」と述べている。蓮沼 (2001:10) にも「X タラ Y の Y には、命令・依頼・禁止・義務などを表すことができる」と記述されている。中国語の仮定条件表現の“如果”は文末のモダリティの制約を受けず、使用範囲が非常に広い。日本語の「たら」との対応性が高いと言えるであろう。

#### 第4節 中国語原文の表現形式と不对応のもの

本稿では、前述のように日中両国語の「仮定条件複文」における構文形式の異同を究明することを目的とするため、ここまでは主に構文形式の対応性について見てきた。【表2】と【表3】で示したように、“如果…就”は中国語の順接仮定条件文であり、日本語の「ト、バ、タラ、ナラ」と対応性を持つ。一方、日本語の逆接条件文は中国語の「譲歩句」と対応性を持つ。しかし、データ上で日本語の訳文には「Pでも（でも）、Q」構文形式も現れている。

- (24) 如果他吃一碗配有黄瓜丝的面条汤，不到两个小时就可以走完腹内全部路程排泄出来。  
《活动变人形》  
キュウリの千切りをいれた汁ソバを食べても、二時間もまたずに腹部内の全行程を通して排泄されてしまい、… 『応報』
- (25) 如果一个人每天为吃饭而操心，却从而不需要为别的操心，那毋宁说是幸福。  
《活动变人形》  
毎日食えることだけ考え、他に心配事がないのはむしろ幸せというものだ。 『応報』
- (26) 梁书记如果找我谈，我也不争论，…… 『金光大道』  
梁書記が話しに来ても論争しませんよ。 『輝ける道』
- (27) 一个孩子如果听到全世界都叫你好孩子，他怎么可能不好呢？ 『活动变人形』  
世界中から良い子だといわれて、悪くなる子などいやしない。 『応報』

上記の用例の訳文を見ると、条件節をそれぞれ「キュウリの千切りをいれた汁ソバを食べたら」「毎日食えることだけ考え、他に心配事がなかったら」「梁書記が話しに来たら」「世界中から良い子だといわれたら」に変えても、自然な文になっている。邢（2002：106-114 参照）では“如果”構文は仮定を表すのに重点が置かれていると記されている。翻訳者の意図によって生じたずれだと考えられるが、むしろ翻訳文の自然さを追求するためといったほうが妥当であろう。

#### 第6章 まとめ

前章では“如果”を含む中国語の順接仮定条件文を三種類に分け、中国語原文と日本語訳文の構文形式を見てきた。共通点がありながら、相違点も存在している。典型的な「P, Q」型においては、“如果”構文は日本語の「もし（もしも）P（たら・ば・なら）、Q」「Pと、Q」構文のいずれも対応性がある。しかし、中国語では条件節が二つ以上の「P1, P2, Q」型、または条件節と結果節そ

それぞれ複数になっている「P1, P2, P3, Q1, Q2」型のような構造が複雑な構文においては、両言語の相違点が観察される。中国語は文を展開していく上で、各条件節に同じ接続表現を用いたり、若しくは接続機能を持たない表現を繰り返して使用することによって、条件節間または結果節間の並列関係を維持する。一方、日本語は条件節間または複数節間の関係が並列助詞や形容詞の連用形などによって示され、同一接続表現の使用を極力回避している。また単純構文であり、主節の文末に疑問や感嘆などを表す“吗・呢・啊”のようなモダリティ表現が現れる場合は、“如果”構文は日本語の「P たら、Q」構文と対応性が高い。本稿で観察された両言語の構文形式および特徴を【表 4】に示す。

【表 4】 日中両言語の構文形式

構文形式	特徴	中国語表現形式	日本語表現形式
「P, Q」型	「P, Q」型は条件節一つの構文であり、典型的な構文なので、日本語と中国語いずれにもより多く見られる構文形式である。	如果 P, Q 如果 P, 就 Q 如果 P, 便 Q 如果 P, 也 Q 如果 P, 那么 Q	もし（もしも）P たら、Q もし（もしも）P ば、Q もし（もしも）P なら、Q P と、Q
「P1, P2, …, Q1, …」型	・条件節が二つ以上であるもの。 ・条件節だけではなく、結果節も複数になっているもの。 ・中国語は条件節間或いは結果節間の並列関係を維持するため、同一接続表現などの使用が許容される。 ・日本語訳文では、同一接続表現の使用を回避する傾向が目立つ	如果 P1, 如果 P2, Q 如果不 P1, 不 P2, 不 P3, 也不 P4, Q 如果没有 P1, 也没有 P2, Q 如果 P1, 如果 P2, 那么 Q 如果 P1, P2, 又 P3, 就 Q1, 就 Q2	P1 ず、P2 ば、Q/P1 て、P2 たら、Q P1 たり、P2 ば、Q。P1 や P2 ば、Q P1 だり、P2 たら、Q もしも P1 て、P2 なら、Q P1 なら、もし P2 たら、それなら Q P1 れ、P2 く、P3 たら、Q1 し、Q2
「如果 P, Q (吗・呢・啊)」型	中国語は主節にモダリティ表現が現れる場合、主節の語気に影響が出ないように、接続表現の使用は好ましくない。	如果 P, Q 吗 如果 P, Q 呢 如果 P, Q 啊	(もし) P たら、Q (対応性が高い) P ば、Q

## 第 7 章 おわりに

本稿では、小説における仮定複文の構文形式について分析し検討を行った。ジャンルを小説のみに限定し、いくつかの傾向が見られたが十分とは言いがたい。対照研究の観点から両言語の複文について先行研究も多くあるが、単純構造のものに着眼し研究を進めたものが多く、実際に文章を書く場合、または口頭で述べる場合、論理的に展開していく際に、単純構造の複文だけではなく、複雑な構文の使用も必要とされる。両言語ではそれぞれどのように展開していくか、その実態をさらに究明すべきだと思う。今後ジャンルを広げてデータを収集しさらなる検討を行いたい。また、得られた結果をどのように言語教育に生かすか考えるのも課題の一つだと思う。

## 注

- (1) 「関連詞語」については、鈴木（1992:61）では「関連作用を行う語句のことを指す。「関連詞語」は主として接続詞の「但是」、「如果」、「然而」など、副詞「又」「才」「就」等および一部の短語が当てられる。その働きは主に複文の前件・後件を接続し、その構造的関係を表すことである」と定義している。本稿では論述をしやすいように、中国語の「関連詞語」をも「接続表現」と称する。鈴木義昭 1992: 61
- (2) 「因果複文」とは、偏句が原因を表し、正句が結果を表すもの。劉 1991: 732
- (3) 「転折複文」とは、偏句がある事実を叙述し、正句にはこの事実即して得られる誰もが納得するような結論は述べられず、むしろそれとは反対の事実または部分的に反対の事実を述べる。劉 1991: 734
- (4) 「条件複文」とは、偏句が条件を表し、正句が結果を表す。劉 1991: 735
- (5) 「假定複文」とは、偏句がある仮定を述べ、正句がそのような状況のもとで出現するであろう結果を説明する。劉 1991: 736
- (6) 偏句で、ある事実を認めて譲歩し、正句が反対の角度から逆の意味を述べるような文を譲歩複文という。劉 1991: 738

## 言語資料

北京日本学研究中心「日中対訳コーパス」(2003)

## 参考文献

- 庵 功雄他『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク, 2000 pp. 222-227.
- 大河内康憲「複句における分句の接続関係」『中国語学』176号 1967 pp. 1-12.
- 下地早智子「中国語の条件表現」『神戸大論叢』55巻1号 2004 pp. 53-69.
- 鈴木義昭「現代中国語の「関連詞語」について」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』4 1992 pp. 60-79.
- 鄭 亨奎「条件の接続表現の研究——中国語話者の学習者の立場から——」『日本語教育』79号 1993 pp. 114-125.
- 鳥井克之「再論 中国語の複文について—新しい中国語教学文法の再構築を目指して—」『関西大学外国語教育研究』第8号 2004 pp. 75-97.
- 新田小雨子『因果関係を表す接続表現の日中対照研究』駿河台出版 2013.
- 蓮沼昭子他『日本語文法セルフマスターシリーズ7条件表現』くろしお出版 2001.
- 劉月華他著、相原茂監訳『現代中国語文法総覧(下)』くろしお出版 1991.
- 陆庆和『实用对外汉语教学语法』北京大学出版社 2006.
- 周刚『连词与相关问题』安徽教育出版社 2002.
- 邢福义『汉语复句研究』商務印書館 2001.
- 姚双云『复句关联标记的搭配研究』华中师范大学出版社 2008.
- 张谊生『现代汉语副词研究』上海学林出版社 2000.

# A Contrastive Study of Japanese and Chinese Languages on Syntactic Models of Sequential Assumption Conditions in Novels

Sayoko NITTA

## Abstract

---

This paper examines the *ruguo* sentence pattern, which represents Assumptions from Chinese literary pieces in the book entitled *Japan-China Contrastive Corpus*; it identifies the similarities and differences between the two languages by comparing syntax formats of Chinese with Japanese. According to the tendency of the *ruguo* sentence pattern observed in the data, they were divided into three types for analysis. The first type is a typical sentence pattern, and the second type is a combination of two or more conditional clauses and one or two result clauses. The third type is the *ruguo* associated with the end model of the main clauses. The result of the verification through examples is as follows. In terms of simple syntax, Chinese and Japanese display many common expressions, and correspondence between the two languages is very high. However, notable differences in complex syntax are observed between Chinese and Japanese. Regarding the sentence pattern associated with the end modal of main clauses, the result evidently indicates that the corresponding is highly with the Japanese sentence pattern (*if*) *P* *tara*, (*then*) *Q*.

---

**Key words:** Assumption compound sentence, *ruguo* sentence pattern, syntax format, conditional clause, Result section